

(4) 科目標準配当表 (高分子化学専攻 (修士課程))

科目 コード	科目名	担当教員	毎週時数				単位	科目区分			
			前期		後期			コア 科目	Major 科目	ORT 科目	
			春	夏	秋	冬					
10H649	高分子合成	関係教員	2				1.5	○			
10D652	高分子物性	関係教員	4				3	○			
10H645	□高分子機能化学		2				1.5		○		
10H607	高分子生成論	大内			2		1.5		○		
10H610	反応性高分子	中條・田中			2		1.5		○		
10H613	高分子機能学	大北			2		1.5		○		
10H616	□高分子集合体構造				2		1.5		○		
10H611	生体機能高分子	秋吉・佐々木	2				1.5		○		
10H643	高分子溶液学	吉崎・中村	2				1.5		○		
10H622	高分子基礎物理化学	古賀			2		1.5		○		
10H625	高分子分光学 <sup>§</sup>	(化研)西田			2		1.5		○		
10H628	高分子材料設計 <sup>§</sup>	(化研)辻井・(化研)大野			2		1.5		○		
10H647	高分子制御合成 <sup>§</sup>	(化研)山子・(化研)登阪・(化研)中村(泰)			2		1.5		○		
10H636	医薬用高分子設計学	(ウ再研)田畑			2		1.5		○		
10H633	□高分子医工学		2				1.5		○		
10D640	高分子化学特別実験及演習	全教員		(8)		(8)	8			○	
10K001	◆◎先端マテリアルサイエンス通論 (前期)	(GL) 蘆田・関係教員	2				2		○		
10H012	◆◎先端マテリアルサイエンス通論 (春期)		2				1.5		○		
10K005	◆◎現代科学技術特論 (後期)	(GL) 松本・関係教員			2		2		○		
10H006	◆◎現代科学技術特論 (秋期)				2		1.5		○		
10H041	□有機金属化学 1	(化研)中村 他関係教員	2				1.5		○		
10H042	○有機金属化学 2	中尾 他関係教員	2				1.5		○		
10H818	先端有機化学	大江 他関係教員	2				1.5		○		
10D043	◆先端科学機器分析及び実習 I	関係教員	2				1			○	
10D046	◆先端科学機器分析及び実習 II	関係教員			2		1			○	
10D051	◆現代科学技術の巨人セミナー 「知のひらめき」 (前期) <sup>*</sup>	(GL) 田中・水野・高取・ 松本・蘆田・関係教員	2				2				
10H051	◆現代科学技術の巨人セミナー 「知のひらめき」 (春期) <sup>*</sup>		2				1.5				
10i045	◆◎実践的科学英語演習 I <sup>*</sup>	(GL) 西川・田中・水野・高取 ・松本・蘆田	(2)				1				
10i009	産学連携研究型インターンシップ	(GL) 高取・関係教員	集中								
10i010	工学研究科国際インターンシップ 1	(GL) 三ヶ田・関係教員	集中					1			
10i011	工学研究科国際インターンシップ 2	(GL) 三ヶ田・関係教員	集中					2			
10i049	◎エンジニアリングプロジェクトマネ ジメント <sup>*</sup>	(GL) 水野・高取・田中・松本・ 蘆田・リントゥルオト	2				2				
10i050	◎エンジニアリングプロジェクトマネ ジメント演習 <sup>*</sup>	(GL) 水野・高取・田中・松本・ 蘆田・リントゥルオト			(2)		1				
10D699	研究論文 (修士)									必修	

§は宇治地区で開講, \*はMinor科目

春期 (4~6月), 秋期 (10~12月) においては, 11週の講義・試験およびフォローアップ授業が開講される。

夏期 (7~8月), 冬期 (1~2月) は自由学期であり, 講義予定は別途通知がある。

- 科目内容の詳細 (シラバス) については, 工学研究科ホームページ (URL: <http://www.t.kyoto-u.ac.jp/syllabus-gs/>) を参照すること。
- 「高分子機能化学」「高分子生成論」「反応性高分子」の3科目から, 1科目以上履修すること。
- 「高分子機能学」「高分子集合体構造」「生体機能高分子」「高分子溶液学」「高分子基礎物理化学」の5科目から, 1科目以上履修すること。
- Minor科目とは, 高分子化学専攻で受講を推奨されている他専攻開講科目、融合工学コース講義科目、上表記載の\*で示す科目及び上表記載以外の工学研究科共通科目のことである (Major科目, ORT科目からの読み替えも可とする)。日本語教育科目については修了に必要な単位として認定する。但し, 指導教員の了承を得ること。
- 平成28年度までに「エンジニアリングプロジェクトマネジメント I」を修得した学生は, 「エンジニアリングプロジェクトマネジメント」を履修しても, 修了に必要な単位としては認定しない。
- 平成28年度までに「エンジニアリングプロジェクトマネジメント II」を修得した学生は, 「エンジニアリングプロジェクトマネジメント演習」を履修しても, 修了に必要な単位としては認定しない。
- 上の表に示す各科目区分を参考に前ページの表に従って単位を修得すること。
- 科目名に「(前期)・(後期)」あるいは「(春期)・(秋期)」の付された科目では, それぞれ全15回または全15回中, 前半11回の講義回数である。科目登録時にどちらかを選択して受講すること。学期途中での両者間の登録変更は不可。